

5. スポンジベース部分にタオル地バフを取付けます。(図3)
次にタオル地バフでワックスを拭き取ります。
垂直面上で作業をする時は、常に電源コードを肩にかけるか、
地面に垂らし、可動する研磨ヘッドから電源コードを十分
離してください。(図8)
ドアミラーやドアハンドルなどの拭取りしにくい面は、
タオル地バフを取り外し、手で拭取りをしてください。



6. 最後にタオル地バフを取外して毛バフを電動ポリシャーに
取付けてください(図4)。
光沢を出すために縦横パターンで長めに
全面をさっと磨いてください。
強く押付けないでください。
ポリシャーの動きにあわせてください。(図9参照)。
磨き終わった後、電源スイッチを「オフ OFF」にして、
電源コンセントから電源プラグを抜いてください。



手入れとメンテナンス

ポリシャーの手入れとメンテナンス

1. スポンジパッド、タオル地バフと毛バフは、洗濯機に少量の洗剤を入れ、冷水を使って短い洗濯サイクルで洗濯できます：
それから乾燥機を使って中程度の熱で乾かします。しかしパッドやバフの寿命を長くするには手洗いと空気乾燥をお薦めします。
2. スポンジパッドやバフの長い寿命と形を保つために、スポンジパッドやバフを上向きにして保管してください。
3. 洗濯などを繰り返し行った場合、バフがスポンジベース径よりも小さくなるおそれがあります。
その場合、対象物に傷がつく可能性がありますので、古いバフから新しいバフに取り替えてください。
4. 電動ポリシャーを使用しない時は、スポンジパッドやバフが完全に乾燥し元の形を保つように、スポンジベースから
スポンジパッドやタオル地バフ、毛バフを取外してください。
5. 電動ポリシャーは下向きの圧力をかけることなくしっかり掴んでください。強く押付けると動きが遅くなり、
作業の品質に影響します。
6. 研磨剤を塗布しすぎないでください。スポンジパッドが多すぎる研磨剤を吸収すると長持ちせず、研磨が困難で長引きます。
7. スポンジパッドがスポンジベースから頻繁に外れる場合、ワックスの使い過ぎの可能性あります。
8. 研磨剤で磨くのが難しいような場合、研磨剤を使いすぎている可能性があります。
9. 電動ポリシャーを清掃するには、低刺激の石鹸と湿ったスポンジのみを使ってください。どの部分も液体に浸さないでください。
電動ポリシャーは絶対にお客様で修理をしないでください。
10. 電源コードの交換が必要な場合、危険を防止するため、MonotaROに連絡をしてください。

取扱説明書

モノタロウ 電動ポリシャー グリップハンドル付

MCPC2-2018

このたびは、電動ポリシャーグリップハンドル付をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を充分に
ご理解をされたうえで、適切な取り扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。

注文コード: 78553825



 二重絶縁

警告

身の安全を守るために、使用前に本取扱説明書を読み理解してください。
今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

警告

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解してください。また、本取扱説明書の指示に従い適切な取扱いと保守をしていただきますようお願い申し上げます。本取扱説明書に記載する指示に従わない場合、感電・火災または人身事故につながる場合があります。取扱いに不慣れな人や、正しい操作のできない人はお使いにならないでください。今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

A.作業環境

- 1.作業場は整理整頓をして、十分な照明を使用してください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
- 2.電動ポリシャーは爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。電動ポリシャーは、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生させることがあります。
- 3.電動ポリシャーの使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなり、操作を誤る原因になります。その結果、けがをするおそれがあります。

B.電気に関する安全事項

- 1.電動ポリシャーのプラグを差込む前に、電動ポリシャーの銘板に印した電圧(AC100V)であるか確かめてください。AC100V以外の電源で使用しないでください。どのような形にせよ、プラグは絶対に改造をしないでください。
- 2.パイプ・暖房器具・電子レンジ・冷蔵庫などのアースされたものに身体を接触させないでください。作業者の身体が接触した場合は、感電の危険が増大します。雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャーは使用しないでください。電動ポリシャーを屋外で使用する際には、以下の3.から5.に注意してください。
- 3.電動ポリシャーを雨や湿気にさらさないでください。電動ポリシャーに水が入ると感電の危険が増大します。
- 4.コードを乱暴に扱わないでください。コードを用いて電動ポリシャーを運んだり、プラグを抜いたりしないでください。コードは熱、油、角のとがったところまたは動くものから離してください。コードが破損した場合はすぐに使用をやめてください。損傷したコード、絡まったコードの使用は感電の危険が増大します。
- 5.電動ポリシャーを屋外で使用する場合には、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
- 6.やむを得ず湿気の多い場所ツールを使用する場合、残留電流装置(RCD)で保護された供給品を使用してください。RCDの使用は感電の危険を減らします。

C.作業者に関する安全事項

- 1.電動ポリシャーの使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動ポリシャーを使用しないでください。電動ポリシャーを使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
- 2.安全保護具を必ず使用してください。常に保護めがねを装着してください。適切な状態で防じんマスク・滑り防止安全靴・ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
- 3.偶発的な始動を避けてください。プラグに差込む前に必ずスイッチを「オフ OFF」にしてください。スイッチに指を掛けて電動ポリシャーを運んだり、スイッチが「オン ON」の状態で電動ポリシャーのプラグを差込むと、事故につながるおそれがあります。
- 4.電動ポリシャーのスイッチを「オン ON」にして電源を入れる前に、工具などを取外してください。電動ポリシャーの回転部に工具などを付けたままにしておくと、人身事故を起こすおそれがあります。
- 5.無理な姿勢で作業をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ってください。適切な足場とバランスを保つことで、予期しない状況でも電動ポリシャーをより適切に操作をすることができます。

- 6.適切な衣服を着用して作業をしてください。サイズが大きい衣服や装飾品を身に着けないでください。長髪は束ねてください。髪、衣服、手袋は可動部から離してください。サイズが大きい衣服、装飾品または長髪は、可動部に巻込まれるおそれがあります。ハンドルはオイルやグリースの付着がなく、乾燥した清潔な状態に保ってください。
- 7.電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

D.電動ポリシャーの使用および手入れ

- 1.電動ポリシャーを無理に使用しないでください。用途に適した電動ポリシャーを使用してください。用途に適した電動ポリシャーは、より適切、かつ、安全な作業ができます。
- 2.スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動ポリシャーを使用しないでください。スイッチで制御できない電動ポリシャーは危険ですので使用しないでください。
- 3.調整を行う前、バフなどの付属品を交換する前、電動ポリシャーを保管をする前には必ず電源プラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、電動ポリシャーが偶発的に始動する危険が軽減されます。
- 4.使用しない電動ポリシャーは子供の手の届かないところに保管してください。電動ポリシャーの説明書に精通していない作業者には電動ポリシャーを使用させないでください。電動ポリシャーに不慣れな作業者が扱うと危険です。
- 5.電動ポリシャーの保守を行ってください。電動ポリシャーの動作に影響するおそれがある可動部分の心ずれまたは締付け状態、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、危険ですので使用しないでください。電動ポリシャーの保守が不十分であることが、多くの事故の原因となっています。
- 6.電動ポリシャーは丁寧に扱ってください。バフ等は清潔な状態にしておいてください。バフ等は適切に交換をしてください。清潔なバフ等は滑らかに動き、操作が容易です。
- 7.改造は誤用に繋がり、危険な状況になることがあります。
- 8.電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動工具を用いる場合、危険な状況になるおそれがあります。
- 9.ハンドルおよび保持面に、オイルまたはグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。

E.整備

部品の破損、および操作に差障る状態がないかチェックしてください。損傷がある場合、使用しないでください。多くの事故は整備の不良でおこります。電動ポリシャーの整備は有資格の方のみが行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。電動ポリシャーを整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品は、研磨工具です。けがの原因になりますので、これ以外の作業は行わないでください。
本製品をご使用の際には、下記に述べる警告・注意事項もお守りください。

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、
死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。

- 1.回転部分で電源コードを切断しないように注意してください。誤って切断したり傷をつけた場合は、
作業者が感電するおそれがありますので、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 2.電源コードに回転部分を近づけないでください。可動中に電源コードが引っかかり、けがをするおそれがあります。
- 3.電源コードは回転部分から離してください。手や腕にコードを巻付けしないでください。制御不能になります。
コードが手や腕に巻付いた場合、抜けられずに負傷することがあります。
- 4.可燃物の近くで研磨作業を行わないでください。
- 5.スイッチを「オフ OFF」にした後、回転部分が完全に停止してから電動ポリシャを置いてください。
回転部分が完全に停止せずに置くと、電動ポリシャが思わぬ動きをして、けがをするおそれがあります。
- 6.けがのおそれがありますので、回転中の回転部分に手や顔を近づけないでください。
- 7.使用中に調子が悪かったり、異音が生じたときは、すぐにスイッチを「オフ OFF」にして使用を止めてください。
- 8.感電のおそれがありますので、水などをかけて使用しないでください。
- 9.電動ポリシャを使用するときは、過剰な力で押付けたりしないでください。作業対象物が損傷したりモーターが
焼けてしまい、けがの原因になります。
- 10.電動ポリシャは適切な用途以外で使用しないでください。損傷やけがの原因になります。
- 11.パッド、カバー、バフ等は確実に取付をしてください。
電動ポリシャから外れてしまうと、けがの原因になります。
- 12.高所で作業をされるときは、下に人がいないことを必ず確認してください。
電動ポリシャやバフ等が落下すると事故の原因になります。
- 13.調整を行う前、カバー、バフなどの付属品を交換する前、電動ポリシャを保管をする前には必ず電源プラグを
抜いてください。そうした安全予防対策で、電動ポリシャが偶発的に始動する危険が軽減されます。
- 14.ご使用前には必ず電動ポリシャ本体、パッド、カバー、バフ等に汚れがないかを確認してください。
汚れが付着していると、作業対象物が損傷するおそれがあります。
- 15.ご使用にならないときは、汚れがつかないように保管をしてください。
- 16.雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャは使用しないでください。感電の危険が増大します。
- 17.電動ポリシャを使用する前には必ず作業対象物(車等)を洗浄してきれいな状態であること、
乾いた状態であることを確認してください。
汚れた状態、乾いていない状態で電動ポリシャを使用すると、作業対象物(車等)にキズが発生する恐れがあります。
- 18.本製品は長時間使用には向いてません。30分未満での使用をお勧めします。
- 19.危険ですので本製品は片手で操作をしないでください。必ず両手でしっかりとハンドルを持って作業をしてください。

構成部品

図1



電圧	AC100V	スポンジベース径(φmm)	152
定格周波数	50/60Hz	コード長さ	5M
消費電力	45W	本体重量	約1.7kg(付属品除く)
回転数	600~3500/min ⁻¹	材質	ABS
付属品	タオル地バフ3枚、毛バフ2枚、スポンジパッド1枚		

操作方法

ご使用前に

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。

- 電動ポリシャを使用する前には必ず作業対象物(車等)を洗浄してきれいな状態であること、乾いた状態であることを確認してください。
汚れた状態、乾いていない状態で電動ポリシャを使用すると、作業対象物(車等)にキズが発生するおそれがあります。
また、雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャは使用しないでください。感電の危険が増大します。
- 付属品の取付、調整または変更をする前に、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源コンセントから電源プラグを抜くことは、電動ポリシャが偶発的に始動する危険を減らします。
- 使用前に必ず電源の電圧をチェックして下さい。
必ず本製品に表示されているAC100Vで使用してください。
- 必ず付属の部品を使用してください。

スポンジパッドの取付け

- 1.電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- 2.スポンジパッドをスポンジベースの中心に合わせて、しっかり取付けてください(図2)。

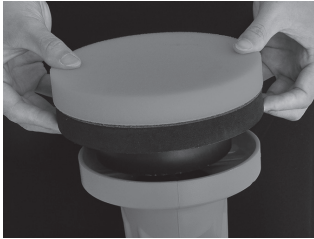
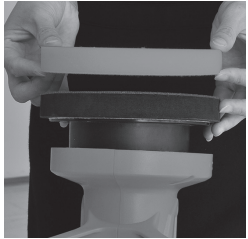


図2

タオル地バフ、毛バフの取付け

- 1.電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- 2.バフをスポンジベースの中心に合わせて、しっかり取付けてください(図3、図4)。



図3



図4

操作方法

- 1.電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- 2.スイッチレバーを押して本製品を起動させます。レバーを押す力によって速度を調整します。
押す力が大きいほど速度は速くなります。

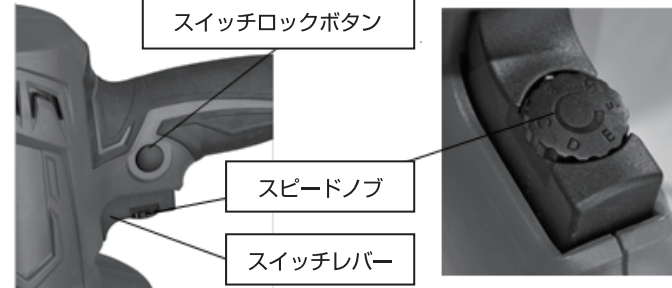


図5

- 3.スピードノブを使用して速度設定が出来ます。速度を上げるにはノブを時計回りに動かしてください。
スピードを落とすにはノブを反時計回りに動かしてください。
スピードノブを使用すると、スイッチレバーを完全に押したときに回転が自動的に所定の速度になります。
- 4.スイッチレバーが作動している間にスイッチロックボタンを押すと、スイッチレバーに一定の力をかけずにポリシャを作動させることが出来ます。
このモードをオフにするには、スイッチレバーを押してください。

使用方法

- 1.電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- 2.スポンジパッドをスポンジベースにしっかりと取付けてください(図2)。
- 3.スポンジパッドの表面全体に大きじ1杯くらいのワックスを均等に薄くつけてください(図6)。ご使用になられるワックスの使用方法・注意事項をよくお読みになり、正しく使用をしてください。直接車に電動ポリシャで磨かないでください。また、ワックスを直接作業対象物(車等)に塗布しないでください。2回目と3回目の塗布は上記のように繰り返してください。スポンジパッドは再補充の場合それほど吸着しません。
- 4.電動ポリシャを両手でしっかりと持ち、低速度で電動ポリシャを車の表面に当てたり停止させたりしてから、適切な速度で使用してください(図7)。ワックスを均等に塗布するためには、電動ポリシャを強く押付けず、ランダムに動くようにしてください。
常に作業対象物(車等)の表面または作業対象物(車等)に接して電動ポリシャを始動し停止してください。電動ポリシャを縦横に幅広く移動させながら作業をしてください。1ヵ所に集中して作業をしたり強く押し付けたりすると、キズやへこみが発生する恐れがあります。
次にドアなどの表面で作業をしてください。
垂直面上で作業をする時は、常に電源コードを肩にかけるか、地面に垂らし、可動する研磨ヘッドから電源コードを十分離してください。ドアミラーやドアハンドルなどの研磨しにくい面は、スポンジパッドを取外し、手で研磨をしてください。



図6



図7